

EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド

この章では Tube Synth を使い往年の EWI サウンドを再現した音色をご紹介します。

MPC Beats 付属の Tube Synth で再現した音色ファイル（プリセットファイル）を以下の URL にご用意しました。前半は EWV2000、後半（次回）は EWI3000m、EWI3020m の代表的な音色を取り上げ、それぞれのプリセットの音作りと好みの音色を作るための調整方法について解説しています。

事前にプリセットファイルを下記の URL よりダウンロードし、MPC Beats で読み込んでください。

プリセットダウンロード：http://ewi.akai-pro.jp/ewi-with-pc/data/EWV_JUDD.zip

付属のソフトシンセを使った音作り（前編）

12-1 プリセットファイルの読込と EWI の推奨設定

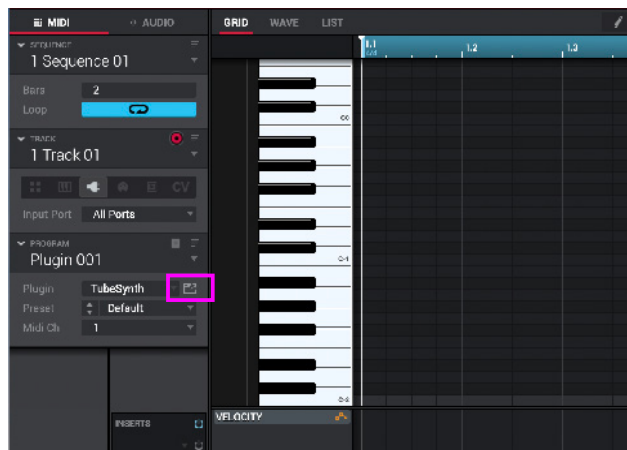
12-2 EWV JUDD (EWV2000)

12-1 プリセットファイル読込と EWI の推奨設定

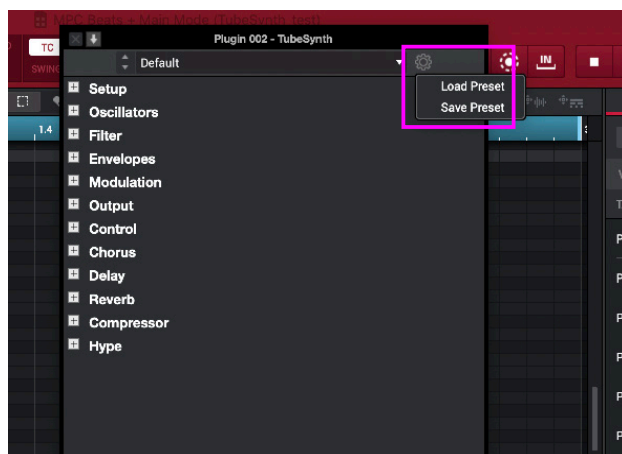
あらかじめダウンロードしたプリセットファイルを下記の手順に沿って読込んでください。

- ① Plugin の名前の右側にあるアイコンをクリック
- ② 表示されたウィンドウ上部の歯車アイコンをクリック
- ③ Load Preset をクリック
- ④ ダウンロードした xpl 形式のファイルを選択して Load をクリック

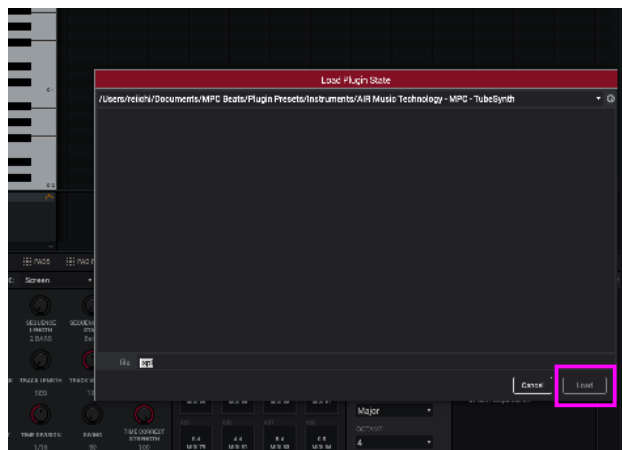
2 回目以降すぐにプリセットファイルを呼び出すために、プリセットファイルを Save Preset で MPC Beats に保存します。プリセット選択に User が新たに追加され、その中から選択できます。



▲手順①



▲手順②・③



▲手順④

EWI を
P C で
楽しむ



今回配布のプリセットを作成する際の EWI の推奨設定は下記の通りです。この設定を基に自分が演奏しやすい設定に変更してください。

- Volume - Low Res
- Aftertouch(AF) - オン
- Lock Velocity(Lv) - オン・127

*Lock Velocity はオンにした後スライダーを右に動かして 127 に設定します。



▲ Breath タブからそれぞれ設定

11-2 EWI JUDD (EWV2000)

EWI 奏者であるジャド・ミラー氏の作った EWI の代表的な音色。ノコギリ波をベースに矩形波を少し混ぜています。

<音作りのポイント>

1. ノコギリ波を選択し Oscillator の FINE を使用してデチューンをかけます。
2. Envelope 3 をピッチエンベロープとして使用。発音時に演奏したピッチより高い音程から発音され目的のピッチに戻るように START LEVEL をプラス方向に少し上げ、START TIME で本来のピッチに戻るまでの時間を設定します。
3. ピッチエンベロープが息を入れた時と運指した時に自動的にかかるように、Setup の POLYPHONY を「Retrigger」にしてマルチトリガーに設定。ここで Legato にすると息を入れた時だけエンベロープがかかります。

矩形波を用いずノコギリ波のみの状態で Start Level を高めにする事で EWI4000s での JUDD サウンドを作ることができます。



▲ 両オシレーターで矩形波寄りのノコギリ波を選択
Fine つまみでオシレーター 1 をデチューン



▲ (左) オシレーターミキサーで波形の音量バランスを調整
(右) エンベロープ 3 の Start Level と Start Time を設定